

事例7 下刈り作業の省力化に向けた取組

(北海道森林管理局)



- 北海道枝幸郡(えさしぐん)枝幸町(えさしちよう) 音標(おとしべ)国有林
- 現地検討会での乗車型草刈機による下刈りの様子(令和4年8月)

北海道森林管理局では、林業労働力の確保が課題となっている中、労働強度を軽減するために、下刈りの機械化の取り組みを進めています。

これまでに、局管内の15署において、乗車型草刈機、リモコン式機械等を活用した下刈りを実施し、刈払い機による下刈りに比べて体力的な負担が小さいことや、キックバックのおそれがなく、安全性が高いこと、また遠隔操作により蜂刺されの防止にもなることなどの効果を確認しました。令和4年度は、7箇所で開催し、これらの効果を市町村等に紹介しました。

なお、機械の使用により、多少の刈残しが発生するものの、トドマツの成長には支障のないことがわかった一方、カラマツについては継続的に検証を行うこととしています。

北海道森林管理局では、下刈り作業の省力化に向けて、引き続きこれらの機械の活用を進め、下刈りの機械化を踏まえた作業体系の確立に取り組むこととしています。